



園長便り

ご入園・ご進級おめでとうございます

おはようございます！朝の挨拶にすがすがしい毎日です。うりずんの季節になりました。

4月、会社では新社会人が活動し始める月です。また、学校では新入学生徒が入ってきます。進級する子供たちもいます。園では新しい園児が入りました。職場も学校も園も緊張するところです。新年度がスタートしました。

うりずんの季節は新緑が輝いて美しい季節です。園児も輝いています。特にマリア組さんは不安で一杯なのか賑やかに訴えています。さすがに、慣れるに時間がかかりますが、ベテランの先生方によって園児の優れた才能を引き出してもらい、また、園児の優れた適応性も相まって落ち着いてきます。

石川三育保育園では三育の名の通り体育、知育、徳育の三つの教育をバランスよく行っています。三育は聖書のルカによる福音書の「幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた。」（ルカ2：40）から来ています。

1. 体育：成長著しい園児の発達をお手伝いします。運動や散歩で体づくりをします。体づくりには食事も欠かせません。園では卵乳菜食をもって園児らの健康を支えています。
2. 知育：園児に必要な知識を授けて、神様から頂いた知恵をもって与えられた知識を用いることを教えます。
3. 徳育：聖書を用いて園児の情操教育、宗教教育を行っています。特に毎日の活動は讃美歌を歌って、神様に祈りをささげてから始めます。お話の時間には聖書を用いて神様を愛すること、人を愛することを教えます。命あるものを大切にすることを教えます。

バランスを整えることによって私たちは健康を保っています。肉体的にも、精神的にも、霊的にもバランスを保つことが必要です。肉体において、良いことでも過ぎることは良くありません。いい食事でも食べすぎは良くありません。仕事もストレスがかかりすぎることも良くありません。神様にすべてをゆだねる信仰が必要です。

保護者の皆様が今後どのような子育てをされるか大切なことです。エレン・ホワイト女史は「教育はこの世で最も大切な働き」だと言っています。特に幼い子供の教育はその人の人生を決めるぐらいに大切だと言っています。主イエス・キリストも「子供たちを来させなさい。わたしのところに来るのを妨げてはならない。天の国はこのような者たちのものである。」（マタイ19：14）と言われています。私たちは神様から子供たちを預かっています。自分のものではありません。大切に育てて行きたいと思えます。神様が皆様の日々の生活を守ってくださいるようにお祈り申し上げます。